

# 緑のカーテン取り組み情報



お名前(ニックネーム)	早川 津子男さん (甲府市)		
育てた植物の種類	朝顔(ケープタウンブルー)		
設置場所	住宅の東側から南側まで		
カーテンの大きさ	高さ: 約 5 m, 幅: 約 18 m	取り組み年数	3年目

## 緑のカーテンの効果

緑のカーテンのおかげで我が家では、エアコンはほとんど使っていません。普通なら朝から夏の厳しい日差しが部屋に差し込んできますが、その日差しを遮ってくれるので、朝からホッとできます。家の前を通る近所の人々がホッとできる癒やしのスポットにもなっています。カーテンを吹き抜ける風はイオンがいっぱいで空気までおいしく感じます。また、朝と夕方に水やりをした後のヒンヤリ感は多くの人に体験してもらいたいです。

夏場の電気代は、春と比べてほとんど増加していません。一般的な家庭より3,000円から4,000円は安価に生活できていると思います。

## 育てる際の工夫・苦労

ケープタウンブルーは、生育が旺盛な植物ですが、栄養成長と生殖成長のバランスや施肥の時期・割合に気配りをしています。肥料は窒素質が低い成分のものを使っています。また、葉についている害虫を見つけたら、できるだけ除去するようにしたり、繁茂した葉が重なり過ぎないように間引きを行い風通しを良くすることもポイントです。

カーテンづくりに利用している棚は、昔、キウイフルーツを栽培するために使用していたものですが、この棚にバランス良くカーテンをつくるために、こまめにつるの誘引をすることも必要です。

宿根草なので寒さに弱いため、冬の寒い時期は掘り出して家の中で管理しています。地温が上昇しないと生育が進まないため、外に移植したばかりの時には、ペットボトルを脇に敷いて昼間の熱を利用して地温が上昇するように工夫します。6月にはペットボトルを取り除き、地温の調整や雑草を防止するために敷きわらをします。

## 感想・楽しみ方など

緑のカーテンに取り組み始めてからは、素直に自然と関わることができるようになりました。また、心にも落ち着きができるようになったと思います。